

## 東京工業大学 男女共同参画ポリシー（Q7関係）

「東京工業大学は、男性女性が互いに人格を尊重し、それぞれの能力を十分に発揮できる「最高の理工系大学」の実現のため、男女共同参画を強力に推進する。」

## 東京工業大学 男女共同参画を推進するための基本指針（Q7関係）

- 意識改革 教職員・学生等が性別にかかわらずその能力と個性を十分に発揮できる環境実現のため、あらゆる機会を通じて男女共同参画意識を醸成・涵養します。
- 環境整備 教職員・学生等のワーク・ライフ・バランス向上のため、柔軟な制度、利用しやすい相談体制、快適なキャンパス環境など必要なソフト・ハード環境を整備・充実します。
- 機会確保 多様な人材活用により大学力・組織力を高めるため、全ての分野において採用、昇進、あるいは意思決定過程等で男女の均等な機会を確保します。
- 若手育成 将来の科学技術を担う若手教職員・学生の確保と男女共同参画社会の形成のため、科学技術の魅力を幅広い層に対し積極的にアピールし、理工系分野の人材育成に貢献します。

## 文部科学省 科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」（Q8関係）

H18年度から公募が始まった委託事業（H21年度からは補助事業）で、それぞれの課題は3年間であり、これまでに55機関が採択されています。その目的は、以下の通りです。

「優れた女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、環境整備や意識改革など研究活動を継続できる仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する。」

## 本学の男女共同参画推進に対する各種支援（Q9, Q10, Q11関係）

### 1. アシスタントの雇用経費支援

男性女性に関わらず、育児（妊娠中～原則小学校1年生まで）や介護のために研究等の時間が短くなる教員が研究・教育・事務のアシスタント（RA・TA、技術員、事務員など）を雇用する際の雇用経費を大学が支援します。（H22年度までは女性研究者の研究アシスタントの場合は、振興調整費直接経費による支援です）

### 2. Web 会議/音声会議システムの貸出

育児や介護による時間の制約で会議やゼミに出席できないときに、別のキャンパスや自宅からWeb や電話（ポリコム）を使って参加するためのシステムを貸し出しています。（H22年度までは女性研究者対象）

### 3. ベビーシッター派遣支援

育児（57日目～小学校6年生）中の男女教職員・学生を対象に、通常の保育者（保育園、配偶者など）が保育をできない状況の際に、ベビーシッターを自宅または大学の構内に派遣する費用を補助しています。

### 4. 育児支援マーク入りグッズ

気兼ねせずに育児のために時間を使えるように、育児支援マークをデザインし、周囲も応援できるグッズを作りました。希望者に配布しています。



メモをPCに貼って使えます。

### 5. 育児と介護のための支援案内パンフレット

国・地方自治体の制度や大学独自の支援策など様々なものがありますが、利用者の視線で、いつ、どのような支援を受けられるのか、時系列にわかりやすくまとめました。

（H22年度版は常勤教職員対象で、配布済みです。

H23年度以降には、非常勤職員対象に作成・配布を予定しています。）

### 6. 産休・育休・介護休業期間を任期に含まない特例

任期付きの教員が産休・育休・介護休業を取得した場合、本人の申し出によって、その期間は任期に含まないようにする制度を策定しました。

（プロジェクト特任教員は、プロジェクト期間内での延長のみ）

### 7. 子育て教員部分就業制度

既存の「育児短時間勤務」制度を、教員が上手に利用して、ワーク・ライフ・バランスの向上や、業績の維持ができるように「子育て教員部分就業制度」と名付け、趣旨や具体的な活用方法を明示しました。週3日勤務に見合った業務担当になるよう協議して決定し、学内外の委員など、教育研究以外の業務は担当させないこととしています。



構内保育場所



## 8. GECおしゃべりサロン

学内に点在する女性研究者や女子学生が気軽に交流できるよう、月一回開催しています。サポート相談員も加わり、自由に情報交換やおしゃべりをしています。育児や介護に関する情報交換の回では、男性の参加も歓迎です。

## 9. 女性サポート相談室

女性の教員・研究者・学生等、女性専用の相談室を開設しました。希望や内容に応じて、適切な情報や支援場所、専門的な相談先を女性サポート相談員が紹介します。育児や介護の情報収集についての相談は、男性からも受け付けます。

## 10. GECからのメールニュース

登録された学内者に、女性研究者支援や男女共同参画推進に関する情報を届けています。

## 11. 女性研究者のための人材登録サイト

本学の教員ポストに興味を持つ女性研究者向けの登録サイトです。このサイトに登録した女性研究者には、本学の教員公募情報をメールで知らせる他、また、教員選考委員長が登録情報を閲覧して、登録者に応募を促すメールを出すことができます。(英語版作成中)



## 本学の男女共同参画推進に向けた意識改革への取り組み (Q13, Q14関係)

### ◆ 女性研究者招へい講演・セミナー (H20年度, H21年度開催)

研究室や専攻が主催するセミナーや研究発表会に学外の研究者を招へいして、講演者(女性)自身のキャリアについて話していただいたり、講演者が所属する機関の男女共同参画状況について語っていただきました。男女を問わず、本学の多数の研究者や学生が、男女共同参画やワーク・ライフ・バランスについて考えるきっかけとなりました。

### ◆ 男性研究者・女性研究者合同研究発表会 (H22年度開催)

男女共同参画推進センターが主催し、学外の若手女性研究者2-3名と学内の若手男性研究者2-3名で、自分の研究の紹介の後、研究者の男女共同参画についての意識調査の結果を見ながら、そのデータについて会場参加者と共に考える会としています。研究分野(比較的、広域な分野)毎に開催しています。

### ◆ 男女共同参画に関するシンポジウム (H20年度, H22年度開催)

H20年度は、佐々木政子先生(日本女性科学者の会理事・日本化学会理事)に「理工系女性研究者のワーク・ライフ・バランス」を講演していただいた後、パネルディスカッション「理工系大学での女性のネットワーク形成について考える」を行いました。H22年度は、A. M. Stacy 先生(UCバークレー)とJ-R Yoon 先生(韓国KAIST)を招いて、国際シンポジウム「理工系における男女共同参画」を開催しました。

### ◆ 上層部向け男女共同参画講演会 (H21年度, H22年度開催)

H21年度は坂東昌子先生(京都大学基礎物理学研究所)に「女性が科学に関わる意味・科学技術の長期的展望の中で」を、H22年度は蟻川芳子先生(日本女子大学学長)に「多様性がもたらす教育と研究の発展」を講演していただきました。

## 理工系分野への進学者・研究者を増やすことを目的とした本学の取り組み (Q16, Q17関係)

### 1. 小中学生向け科学セミナー

本学の女性教員や女子学生による小学生・中学生(男女)対象の科学セミナーを実施しています。理科に興味をもってもらうことのほか、女性研究者の姿を見てもらうことも目的としています。

### 2. 女子高校生向け研究室ツアー

工大祭・すずかけ祭の際の研究室公開に合わせて開催している、本学の女子学生と一緒に研究室を回るツアーです。様々な分野の研究室を見てもらうとともに、女子学生から理工系で学ぶ楽しさや、大学生活の魅力を伝えてもらいます。

### 3. 本学女子学生による母校(高校)訪問

本学女子学生が、母校へ訪問し、後輩たちに理工系の大学生活や研究の楽しさを紹介したり、自分の進路選択への思いを伝えます。

### 4. 女子学生向けキャリアカフェ

本学女性卒業生などの女性研究者を招いて、女子学生や女性のPDを対象に、自身の研究キャリアについて話してもらうことで、後輩女性の研究キャリア選択をエンカレッジします。H20-22年度で10回開催しています。

### 5. 学部生向けの男女共同参画に関する講義

文系科目の一部にジェンダーに関する講義を入れ、ジェンダーに興味がなくとも、自然な形でそうした話題を考える機会を創設しました。外部講師を招いての講義となっており、H22年度は公開講義の形をとりました。